

Shiori Kuwahara

桑原志織 ピアノ・リサイタル



2022年

3/30 (水) 19時

紀尾井ホール

Wednesday, March 30, 2022 at 7 p.m. Kioi Hall, Tokyo

ベートーヴェン:

ピアノ・ソナタ第8番 八短調 op. 13
「悲愴」

Beethoven:
Piano Sonata No. 8 in C minor op. 13 "Pathétique"

シューベルト:

幻想曲 八長調 D760, op. 15
「さすらい人幻想曲」

Schubert:
Fantasy in C major D760, op. 15 "Wandererfantasie"

ヴィトマン:

11のフモレスケ より

Widmann:
Eleven Humoresques, excerpts

リスト:

ピアノ・ソナタ 口短調 S. 178

Liszt:
Piano Sonata in B minor S. 178

料金

全指定席 ¥4,000

学生券 ¥2,000 (Ke+のみの取り扱い)

主催: KAJIMOTO

後援: イスラエル大使館

一般社団法人 常磐会

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校響親会

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

Piano Recital

今、まさに大輪の花を咲かせようとしている桑原志織さん

国際コンクールで勝ち抜いて行くことの大変さは一言で言い表せません。数々のコンクールにおもむき、戦士と称して過言ではない若いピアニストたちの熾烈な闘いを目の当たりにする時、私は心からの敬意を表せずにはいられないのです。桑原志織さんは2021年5月、イスラエルのテルアビブで開催され、難関として知られる第16回アルトゥール・ルービンシュタイン国際マスターピアノコンクールに挑み、堂々第2位入賞を果たされました。これは1977年寺田悦子氏の第3位入賞以来、実に44年ぶりの快挙であり、コロナ禍で疲弊していた私たちに希望の光を投げかけてくれるGood Newsでした。この栄光に至るまでに、彼女はすでに日本はもとより、ヨーロッパの著名な国際ピアノコンクールである「マリア・カナルス」、「ヴィオッティ」、「ブゾーニ」等において次々と上位入賞を果たされています。“ローマは一日にして成らず”です。

ここで桑原さんのルービンシュタイン・コンクールでの熱い闘いを振り返ってみたいと思います。世界の精鋭たちと1次予選40分、2次予選60分のon lineによるソロ・リサイタルを成し遂げ、見事ファイナリストBest6に選ばれた桑原さんは、テルアビブでの有観客による本選へ！本選一日目は「古典派協奏曲」の課題として、ベートーヴェン・イヤーにちなんだベートーヴェン「ピアノ協奏曲第3番」をイスラエル・カメラータ・エルサレムと協演。冒頭のフォルテは深く威厳に満ち、誠実に真摯に作品と向き合います。磨き抜かれた音の奏でるパッセージはelegantで、聴く者を幸福感へと導いてくれました。翌日は室内楽の課題としてシューマンの「ピアノ五重奏曲変ホ長調」を演奏。伸びやかでありながら弦との呼吸は完璧で、音楽が熱して行く途上でも決してコントロールを失うことなく弦と溶け合っていました。そして最終日、いよいよ3つ目のステージ「グランド・ファイナル」に挑みます。ピアニスト究極の憧れとも云えるラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」を、世界に冠たるイスラエル・フィルと協演するのです！燃えるような深紅のドレスに身を包んだ桑原さんが、演奏直前に指揮者と交わした厳粛な表情は今も忘れられません。悲哀を帯びたテーマが流れ始め、フレージングの呼吸は深く、多彩な音色と鮮烈なテクニックが作品に輝きと生命力を与え、カデンツァもドラマティック！第2楽章も時に繊細に時に激情的に表現力が増幅し、ラフマニノフの祖国への熱い思いをスケール大きく伝えます。フィナーレは聴く者を陶然とさせる美しさに満ち、なおかつ大胆でpassionate！ラスト、目も眩むオクターヴ・ユニゾンの何と云うカッコ良さ！全てを燃焼し尽くした渾身の演奏に、私の胸には熱いものが込み上げてくるのでした。彼女にとってもこれまでの人生で最も輝かしい瞬間ではなかったでしょうか。大輪の花が、今まさに花開こうとしています。

藤巻 暢子(音楽ジャーナリスト)

桑原志織(ピアノ) Shiori Kuwahara, Piano



2021年第16回アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクール(イスラエル)で日本人史上最高位の第2位、44年ぶりの上位入賞を果たす。2019年第62回ブゾーニ国際ピアノコンクール(イタリア)においても日本人史上最高位の第2位、併せてブゾーニ作品最優秀演奏賞を受賞。また、マリア・カナルス国際(2016/スペイン)、ヴィオッティ国際(2017/イタリア)共に2位入賞等、数々の主要コンクールで荣誉に輝き、国際的に注目される。

東京都出身。学習院初等科・女子中等科卒業。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、2018年東京藝術大学ピアノ専攻首席卒業。伊藤恵氏に師事。東京藝術大学宗次徳二特待奨学生第1期生。藝大1年次に日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞(聴衆賞)。卒業時に安宅賞、アカンサス音楽賞、大賀典雄賞、同声会賞、三菱地所賞、平山郁夫文化芸術賞を受賞。

プラハ、ウィーン、ホノルル、またドイツ、イタリア、ポーランドにおいて内外のリサイタルや音楽祭に多数出演。オーケストラとの共演も多い。2016年度「紀尾井 明日への扉」やNHK・FM「リサイタル・ノヴァ」出演。ピアノ音楽誌「月刊ショパン」(2021年7月号)では表紙を飾り、巻頭特集記事が組まれる。2020年ベルリン芸術大学ソリストマスターを最優秀で修了し、現在は、同大学国家演奏家資格課程でクラウス・ヘルヴィッヒ氏に師事。江副記念リクルート財団第44回奨学生。ロームミュージックファンデーション2021年度奨学生。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからも申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ <https://t.pia.jp>(Pコード: 207-143)
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

カジモト・
イープラス



一般発売:
2022/1/14(金) 10:00~

“kajimotomusic”で検索! [f](#) [YouTube](#) [Twitter](#) @kajimoto_News [Instagram](#) @kajimotomusic

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。